

明るい農の未来へ

アグリコラボいとしま

糸島農業産学官連携推進協議会（アグリコラボいとしま、久保田稔会長）が8日、講演会を九州大伊都キャンパス（福岡市西区元岡）で開催し、熊本大の徳野貞雄教授が「今、農に吹く風」のテーマで講演。農の新しい未来像を市民パネリストや会場参加者約60人と

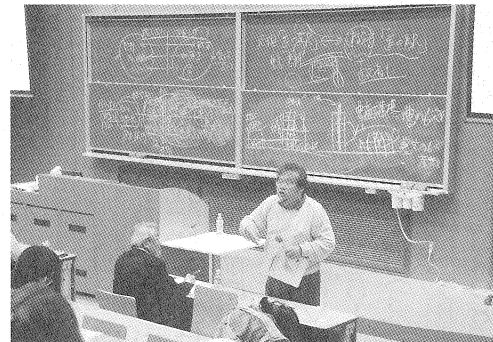
もに考えた。

徳野教授は、消費者を4分類する。①農作物の価値が分かり、金も支払う（55％）②健康志向型で金を支払うが、農作物の価値が分からない（16・6％）③農作物の価値が分かるが、金が支払えない分裂型消費者（52・4％）④農作物の価値が分か

らず、金が支払えない（23・0％）。④は相手にしなくていい。攻めどころは③。機会あることに洗脳し、行動させる。今後、JAの最大の事業対象者」とし、分裂型消費者の誘導戦略として「道の駅」を挙げてい

る。一方で、官製の画一的な道の駅、行政マンが机上で作った農業の6次産業化の危険性を独自の徳野節で語った。

る。一方で、官製の画一



農への思い込め徳野節さく裂

2013年12月12日

糸島新聞